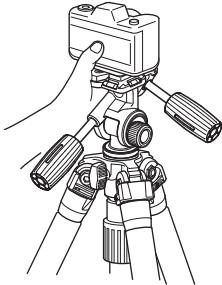
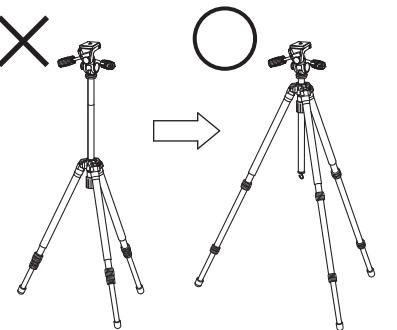


エレベーターの使い方



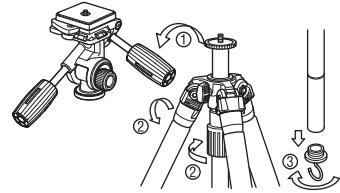
雲台に手をそえてエレベータースッパー、エレベーターロックナットの順にゆるめます。雲台を上下させて位置が決まつたら、手を離す前にしっかりとナット、スッパーをロックしてください。



ブレ防止のため、エレベーターはなるべく短くしてご使用ください。
また、脚は太いパイプを優先してお使いください。

エレベーターの上下差しかえ

△ 注意



- ①エレベーターの上下差しかえまたは交換のときは、必ず雲台を外してください。
- ②エレベータースッパーとエレベーターロックナットをゆるめます。
- ③エレベーター抜け止めを外しエレベーターをぬきります。

石突の交換

△ 注意



- ゴム石突を取り外して、スパイク石突と交換する事が出来ます。
脚パイプをしっかりと握り、ゴム石突をゆるめてはします。
この時、再下段の脚パイプ以外を持つて行うと、脚パイプが破損する恐れがあります。

お手入れ

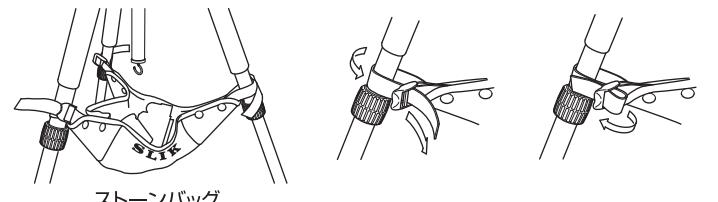
- ・グリス、油の補給はしないでください。
- ・よがれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。その後、きれいな乾いた布でふいてください。
- ・火に近づけないようにしてください。夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。



*改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。

付属品

△ 注意



- 最初に付属のスパイク石突を止まるまで指でねじ込みます。
最後に付属のスパナで止まるまでねじ込んでください。
注意：
下段の脚パイプ以外を持つて行うと、脚パイプが破損する恐れがあります。
付属以外のスパナを使用すると脚パイプが破損する恐れがあります。

- アクセサリーなどを入れて、三脚全体を重くし安定性を高めます。図のようにベルトを通して取り付けてください。
脚ロックナット部に引っかけて、下へのずり落ちを防いでください。物を入れる前にバッグの固定を確認してください。
エレベーターの急な落下により、内容物にあたることがありますのでご注意ください。

アフターサービス

製品の修理に関してはお買い求めの販売店または販売元のケンコー・トキナーへご依頼ください。
本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。
したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ <http://www.slik.co.jp/>

スリック株式会社

本社/〒350-1231 埼玉県日高市鹿山853

スリック製品販売元
株式会社 ケンコー・トキナー

〒161-8570 東京都新宿区西落合3-9-19 Tel. 03-5982-1060

SLIK®

カーボンマスター 823 PRO N, 824 PRO N

仕様

カーボンマスター	823 PRO N	823 PRO N 脚
縮長	710 mm	600 mm
全高	1,819 mm	1,685 mm
EVスライド	320 mm	320 mm
質量	2,330 g	1,630 g

カーボンマスター	824 PRO N	824 PRO N 脚
縮長	590 mm	478 mm
全高	1,761 mm	1,627 mm
EVスライド	320 mm	320 mm
質量	2,300 g	1,600 g

三脚ケース付
ストーンバッグ付

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことにありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。

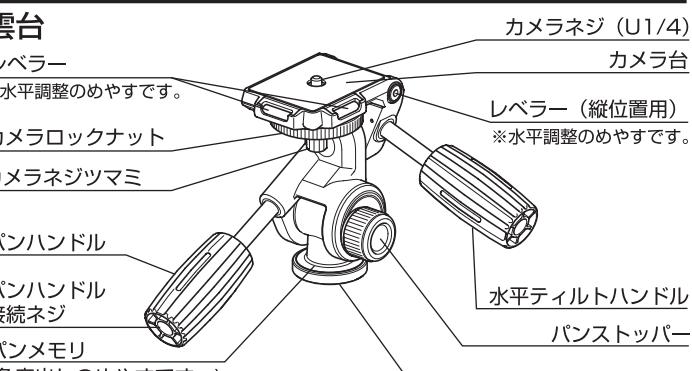
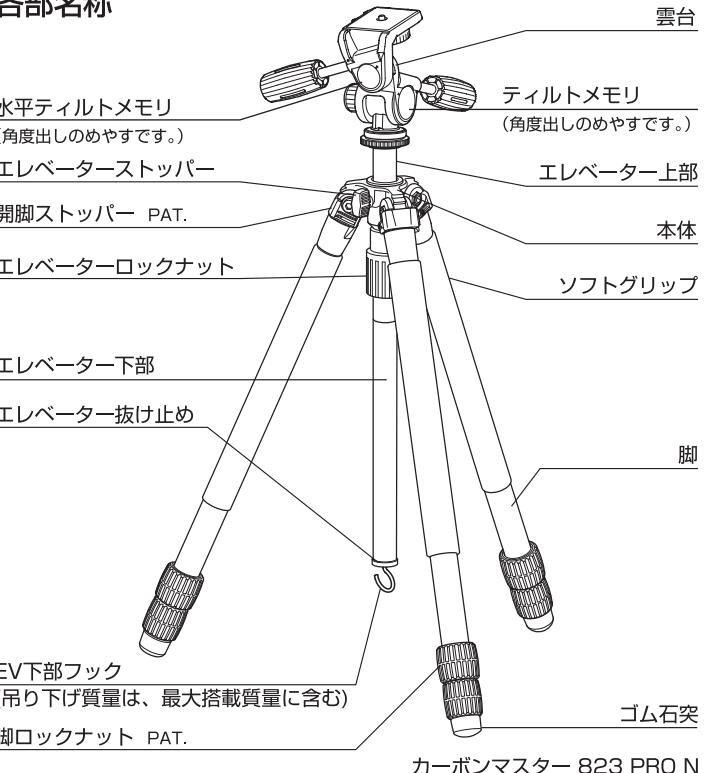
脚のみをお買い上げの方は【三脚部】の説明を中心にお読みください。

△ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

○ 禁止 このマークは禁止（してはいけないこと）内容です。
説明にしたがい事故のないようお使いください。

P909-1

各部名称



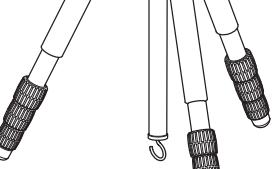
△ 禁止
パンハンドルだけを持って、三脚を持ち上げないでください。
※三脚用レベラーは水平調整のめやすです。
カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。

搭載する機材

○ 禁止

最大搭載質量
カーボンマスター 823 PRO N : 5kg
カーボンマスター 823 PRO N 脚 : 5kg
カーボンマスター 824 PRO N : 5kg
カーボンマスター 824 PRO N 脚 : 5kg

これ以上の機材は載せないでください。また、上記搭載質量以下のものであっても重心位置によりバランスの取りにくいものもあります。
そのようなときは、上のクラスの三脚をお使いください。



カーボンマスター 824 PRO N

付属品



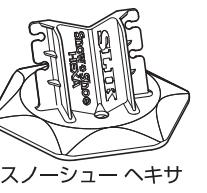
△ 注意

ソフトグリップは消耗品です。永久的に使用できるものではありませんので傷んだらお買い求めの販売店または販売元のケンコー・トキナーへご依頼ください。
(無料修理保証の対象外です。)

※まれに黒い色が付着することがありますので注意ください。

雪上での設置の場合

△ 注意



雪上での設置の場合、雪を踏みかためてから設置してください。
雪中に脚が沈んだ場合、三脚が破損する恐れがあります。
別売のスノーシュー ヘキサを脚の先端に装着することで、雪などへの沈み込みを防ぎ安定撮影に役立ちます。

衝撃のあったとき

△ 注意

三脚が転倒するなど衝撃が加わった場合は、パイプにひび割れが入っていないか確認ください。
傷、割れ等が見つかった場合はただちに使用を中止し修理を依頼してください。
カーボン繊維が出ている場合はケガをするおそれがあります。
直接ぶれないようご注意ください。

クランプヘッド

○ 禁止

別売のクランプヘッドはカーボン三脚に使用しないでください。
カメラは三脚から外して運搬してください。
パイプが破損し危険です。

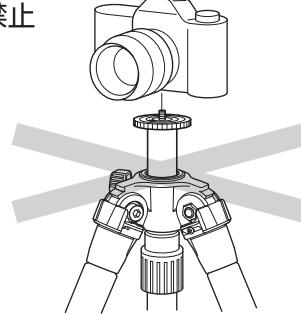
持ち運びのとき

○ 禁止

三脚にカメラを取り付けたまま移動すると、思わぬ事故を起こします。
カメラは三脚から外して運搬してください。
パイプが破損し危険です。

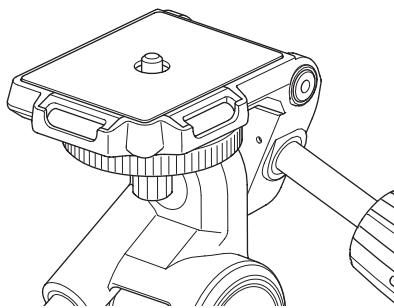
雲台取り付けネジ

🚫 禁止



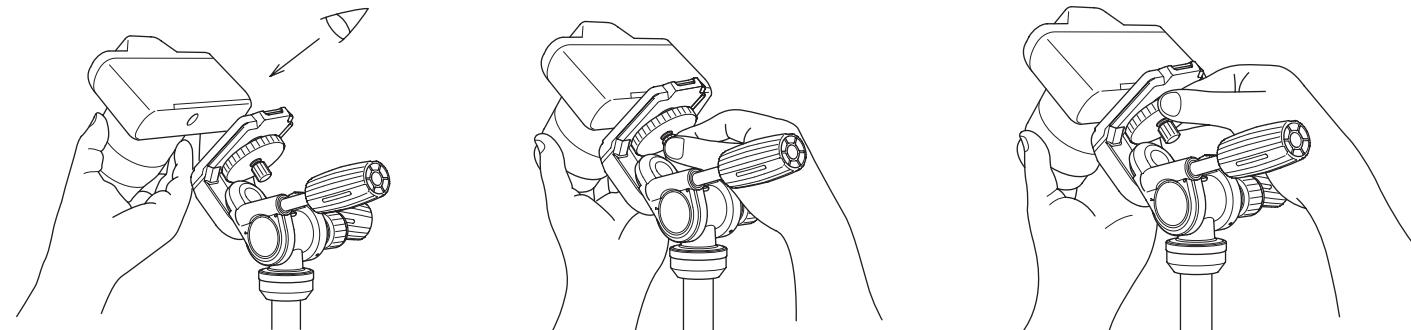
カメラを直接エレベーターに取り付けることは故障の原因になります。雲台などを介してお取り付けください。

雲台部 レベラー



カメラ台のレベラーを使用すると、水平出しのめやすとすることができます。

カメラの取り付け

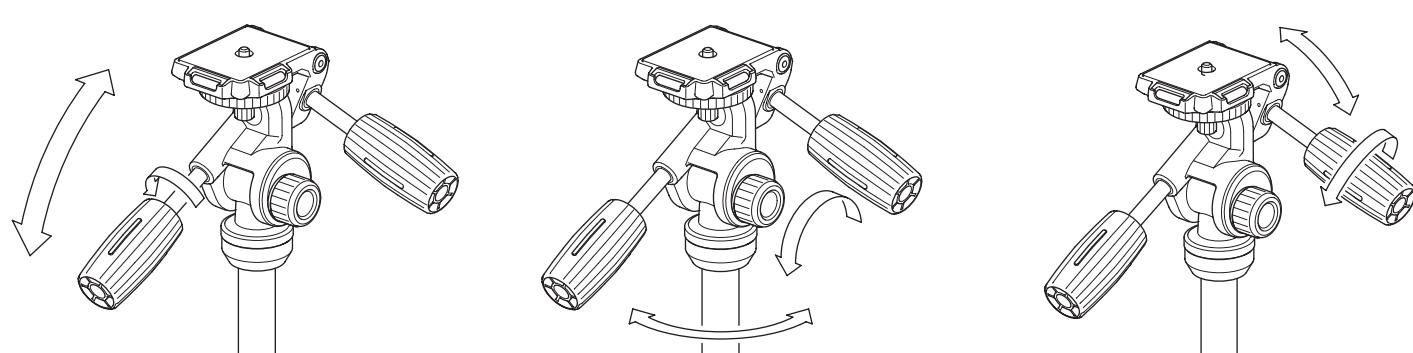


ハンドルを操作して、図示の様にカメラ台の手元をあげると、ネジ部が見えて取り付けやすくなります。

カメラをしっかりと支えながら下側のカメラネジツマミでカメラネジを、ねじ込みます。

次に上側のカメラロックナットで、しっかりと締め込みます。

雲台の使い方



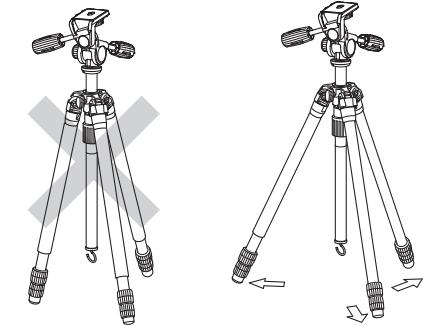
パンハンドルをゆるめると、前後にティルトできます。

パンストッパーをゆるめると、水平に回転できます。

水平ティルトハンドルをゆるめると、水平調節ができます。

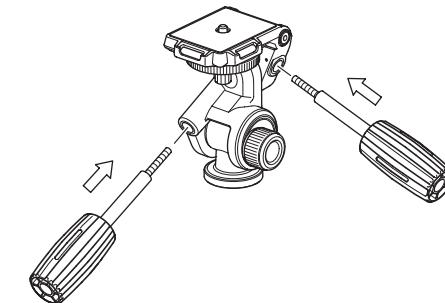
機材の取り付けとセットアップ

⚠️ 注意



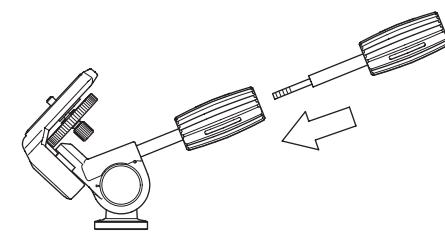
カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、落下や転倒を防いでください。また、3本の脚を開いてください。脚の開きが不十分だと不安定でカメラブレや転倒の原因になります。

パンハンドルの取り付け



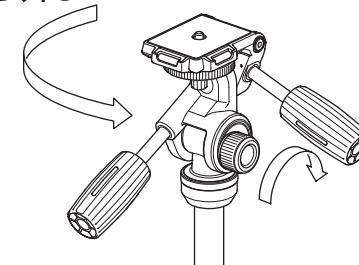
雲台に2つのハンドルを取り付けます。ハンドルに長・短はありません。どちらにも取付けることができます。

収納



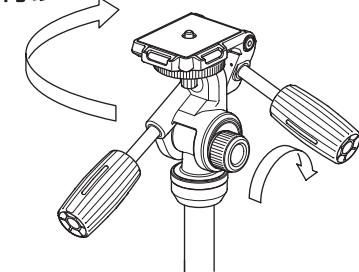
水平ティルトハンドルをはずし、パンハンドル後部のパンハンドル接続ネジにねじ込んでください。コンパクトに収納できます。

雲台の取り外し



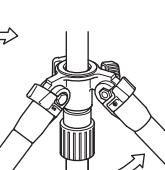
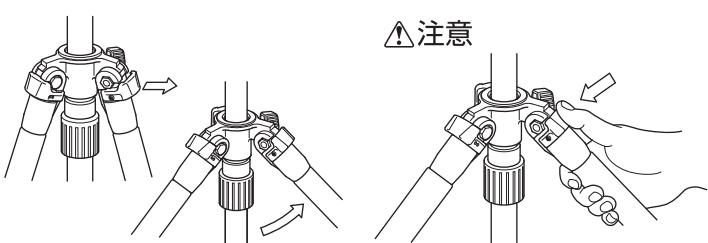
雲台を取り外すときは、始めに、エレベーターをエレベーターストップバーとエレベーターロックナットでしっかりと固定します。次に、雲台のパンストッパーをしっかりと締め込み、パンハンドルと水平ティルトハンドルを握って力強く反時計まわりに雲台を回します。これで雲台がゆるみます。

雲台の取り付け

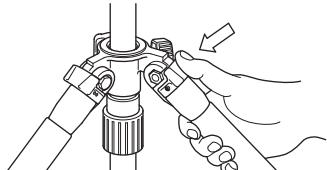


雲台(アクセサリー)と三脚のネジを合わせます。雲台を時計まわりに止まるまで回します。パンストッパーをきつく締めて、さらに時計まわりにねじ込みます。パンストッパーをゆるめると通常にパンニングできます。

開脚角を変える



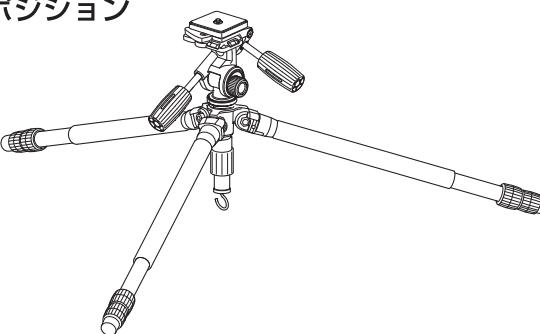
⚠️ 注意



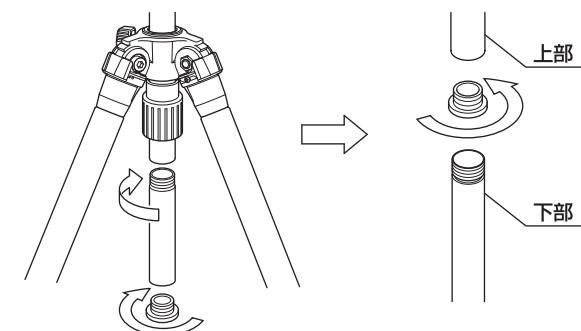
標準の開き位置から脚を少し閉じるようにして、開脚ストッパーを引き出すと残り二つの開脚角(ミドル、ローポジション)がえらべます。

使用角度が決まったらストッパーをつきあてにあたるように確実にもどしてください。

ロー位置

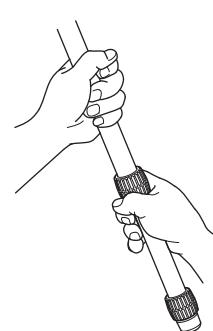


エレベーターの下部を取り外すことにより、より地面に近い位置からの撮影が可能です。



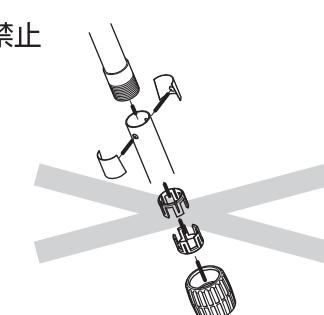
エレベーター抜け止めと、エレベータ下部を矢印方向にねじり、取り外します。取り外したエレベーター抜け止めは、エレベーター上部の下側に必ず取り付けてください。

脚の伸縮

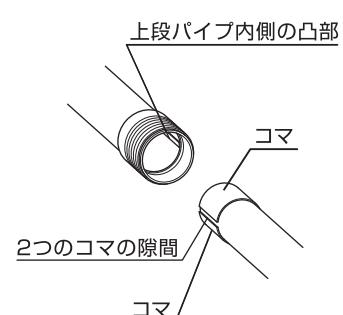


🚫 禁止

脚ロックナットをゆるめると、脚は伸縮します。位置がきまたら、しっかりと脚ロックナットを締めつけてください。



ナットを外して分解することは事故の原因になるので、なるべくしないでください。外したときは図のように正しく組みこんでください。



パイプを差し込むときは、2つのコマの隙間とパイプの内側の凸部を合わせてください。